

【ハミダシ情報】十月二十七日(土)神戸にて、祖父江嘉高さん(六一)が聖心女子大OG・浅野緑さんと結婚。祈御多幸。

# 稲グリ新聞

〈発行〉  
早大グリーンクラブOB会  
稲門グリーンクラブ

〈編集〉  
加藤 晴 生 郎 豊 了  
原 信 二  
佐々木 川  
石 川

〒190-12 武蔵村山市大南  
2-26-12 頼原信二郎方  
TEL (0425) 65-1839  
(毎月1回発行)定価100円

## 定演

### 仕上げの最終コーナー突入 「本番想定」の自己練習を!

定演ステージマネージャー 安斎 真治(四七)

定演もいよいよ間近となりま  
た。いつものように舞台は総て整  
いました。一流のホールに一流の  
演奏者、残すはいつもの稲グリ本  
番実力発揮。本番で思う存分歌い  
きるためには、やはり「暗譜」。

もう一踏ん張り頑張って「暗譜」  
に努めましょう。  
さて、ステージです。  
第一ステージ「阿波」。冒頭で  
の「校歌」はありません。落着き  
と静かな緊張感とが必要です。制

連の大地を思い出し、岡村さんと  
い上げましょう。  
最終ステージ。再び制式ユニフ  
ォーム着用で「ロシアの歌」。ソ  
ド。今度もTシャツ、ジーパン  
で頑張ります。一部反対もありま  
した。が、カッコ悪いと思ってる  
のは本人だけ、結構評判はいいの  
です。後は自信をもって楽しく歌  
い上げましょう。

式ユニフォーム着用(ワッペン、  
バッジ付)。  
第二ステージは「ニグロ」。も  
ちろん第一ステージとの間に休憩  
はありません。気分をサツと変え  
てかかります。ここまで、アツと  
いう間に過ぎていきます。十分歌  
えなかつたと悔やんでも後の祭で  
す。楽譜の見直し、暗譜励行です。  
ここで休憩。慌てず素早く衣装  
替え。歌詞の確認も是非。

ともにステージを盛り上げましょ  
う。  
というわけで、本番は緊張感と  
体力の持続がハゲしく要求されま  
す。本番を想定した各自の自己練  
習が必要で、また「いい声」  
がその時出るように、当然ですが  
体調を整えることもお忘れなく!  
ということになります。  
残された三週間、最高の仕  
上がりを目指して皆で頑張らしまし  
よう。



### 稲グリ 練習日程(平成2年)

9月29日(土)	プレイス24	17:00~21:00	ニグロ・北'リチュアル'
10月2日(火)	東混練習場	"	ニグロ・北'リチュアル'
6日(土)	奉仕園(小)	16:00~18:00	阿波(堀)
	"(大)	19:00~21:00	ロシア民謡
7日(日)	プレイス24	13:00~15:00	ニグロ・北'リチュアル'
		15:30~18:00	ウェストサイド・ストーリー (堀、ハイン)
9日(火)	東混練習場	18:30~21:00	阿波
12日(金)	奉仕園(小)	18:30~21:00	阿波(堀)
14日(日)	プレイス24	13:00~18:00	7日と同メニュー (堀、ハイン)
16日(火)	東混練習場	18:30~21:00	ロシア民謡 (岡村、堀)
20日(土)	奉仕園(大)	13:00~17:00	ゲネプロ(堀)
21日(日) 第23回「稲門グリーンクラブ定期演奏会」 渋谷BUNKAMURA・オーチャードホール 15:30 開演 18:30~打上げ 東急文化会館			
23日(火)	東混練習場	18:30~21:00	熱海・特ステ曲
30日(火)	"	"	"
11月4日(日) 特ステ「熱海 遙祭」(全日) 09:00 新宿西口からバスで熱海観光会館へ 13:30 開演 16:00 前には終演 16:40~18:30 熱海後楽園ホテルにて打上げ 18:30 バスにて新宿へ 新宿にて解散			
6日(火)	東混練習場	18:30~21:00	マリオン・特ステ曲
13日(火)	"	"	"
20日(火)	"	"	"
27日(火) 特ステ「イトウテルミー10周年記念会」 19:00 集合 20:00 本番 新高輪プリンスH			
12月1日(土) 早大グリーOB会・稲グリ「平成2年度総会」 第9回「グリーンクリスマス」 半蔵門会館			
4日(火)	東混練習場	18:30~21:00	マリオン曲
11日(火)	"	"	"
15日(土) '90「コーラス・イン・マリオン」 桜楓、桜友と共演 有楽町朝日ホール (同所で1990忘年パーティー)			

### 出席記録 (合宿)

	8/28	9/4	8~9	11	15	18	24
T <sub>1</sub>	10	9	15	12	9	12	12
T <sub>2</sub>	14	14	17	16	14	16	17
B <sub>1</sub>	12	15	20	16	9	14	19
B <sub>2</sub>	19	22	22	21	15	20	20
	55	60	74	65	57	62	68

■新登場のOB  
B<sub>1</sub>青柳 修さん(三四)

途中から入場の岡村さんも、七  
十名近く集まっているメンバーに  
満足げ。稲グリのパックコーラス  
にもほとんど注文をつけない。予  
定の「ロシアの歌」を効率よくこ  
なして終了した。

歌う喜び溢れる練習場  
合宿以来急速に盛り上がり、熱  
気を帯びてきている練習だが、九  
月二十四日(月・祝)の練習は、  
堀指揮者とともに久し振りに岡村  
喬生さんを迎えて一団と熱の入っ  
たものとなった。

「阿波」では、音程もしつかり  
してきたので、細部のツメに入っ  
たが、堀指揮者の巧みな音楽作り  
にいつもながらメンバー一同「ウ  
ーンなるほど」。音楽が分かって  
くると歌の楽しさ、歌う喜びが体  
中に満ち、そのまま外へ溢れ出る。  
その歌声に奉仕園も弾けそうであ  
った。

### 練習状況

# 返券がなければ満員 メンバー個人販売、 さらに頑張りましょう!

定演チケット担当マネ 清水 実(三八)

定演まで三週間足らずとなり、そろそろ会社の仕事は上の空で、暗譜に打ち込んでいた、この時期です。

返券を受け付けますが、タイムリグで売れ残る恐れもありますので、代金はお支払いいただくという点とも考えておりますのでよろしくお願ひします。

A券にしましては、原則として返券を認めませんので、どうか完全な返券を認めてください。

また、今回は、稲グリ友の会の候補者(前回・第二十二回定期演奏会)を中心にご協力いただいた方を中心に、ダイレクトメールでチケットの申込みを受けています。この方々の大半は、前回、メンバーの皆様が直接チケ

皆様にお配りした定演チケットの売行きはいかがでしょう。チケットの配布は、稲グリ友の会(仮称)と交友会の要求に備えたもの以外は、ほぼ終了し、返券がなければ満員のオーチャードホールで歌えるはずですが、

S券にしましては、十月九日(火)までは返券を認めますので、各自早めに判断してください。十月十二日(金)以降はS券に限り

## 指揮者・堀俊輔さん 今秋、大物ソリストと続々協演!

着々とメジャー指揮者としての地位を築き上げつつある堀俊輔さん(五〇)は、十月三十一日の稲グリ定演の後、十一月七日(水)、名古屋フィルハーモニー交響楽団を指揮し、中村紘子嬢とシヨパンの二つのピアノ協奏曲を協演するのを始め、以下の通り大物ソリストと協演する。

十二月二日(日) 京都市管 和樹  
バイオリン 沢 和樹  
十二月七日(金) オケ未定 京都会館  
バス 岡村喬生 榎木会館

十一月二十八日(水) 読響  
チェロ 山崎 伸子  
フルート 佐々間由美子  
市川文化会館  
※来年、読響オーケストラハウスにて放映。

【ハミダシ情報】合宿異聞その二。「おどるポンポコリン」が出た後、N良原さんが「ドラエモン」を歌おうと言った。妙に思ってたよくよく聞いてみると「ドライボーイズ」と言っていたのだ。

「田舎のバス」ではS水実さん、Y尾さんらがソロ(喋りと鳴き声)。五、六十年代卒は初めて聴く曲に感涙の会場につきましては、東急リブルの阿部さん(三〇)、東急ストア二子玉川店店長の日和佐さん(四六)に大変お世話になってます。感謝。

### 定演 打上げ

### 西原早大総長も、 ソ連大使館からも出席予定

### 大勢の参加で会を盛り上げましょう

定演マネージャー 額原信二郎(四二)

熱気覚めやらぬ定演の興奮と喜びをともに分かち合う「打上げ」は、下記の通り、東急ゴールデンホールで開きます。

すので、是非盛会になるようにしたいと思ひます。各代OB、友人知人、ご家族等お誘い合わせ多数ご出席下さるようお願いいたします。特に今定演にオンステージされたOBの方大歓迎です。

#### 《第23回》定期演奏会「演奏曲目」

- I 合唱による風土記「阿波」〔男声〕  
作曲=三木 稔 指揮=堀 俊輔
- II ニグロスピリチュアルズ  
指揮=長沢 護
- ①MY LORD WHAT A MORNING
- ②AIN'T A THAT GOOD NEWS
- ③THERE IS A BALM IN GILEAD
- ④HAIL MARY
- ⑤SET DOWN SERVANT
- ⑥SOON AH WILL BE DONE
- 《休憩》
- III WESTSIDE STORY  
作曲=レナード・バーンスタイン 編曲=前田 憲男 指揮=堀 俊輔
- 1. JET SONG
- 2. SOMTHING'S COMING
- 3. MARIA
- 4. TONIGHT
- 5. COOL
- 6. SOMEWHERE
- 7. QUINTET(全7曲)  
伴奏=早大ハイソ・オーケストラ
- IV ロシアの歌・岡村喬生オンステージ  
指揮=堀 俊輔
- ①ステンカラーズン(ソロ+稲グリ)
- ②小川に沿って(稲グリ)
- ③バイカル湖のほとり(ソロ)
- ④歌劇「ボリス・ゴドノフ」より  
ボリスの死(ソロ+稲グリ)

#### (第23回定演) 打上げ

日時: 10月21日(日) 午後6時30分~  
会場: 東急ゴールデンホール  
(渋谷駅前・東急文化会館8F)  
☎03-409-4181

会費: A=メンバー&男性券 5,000円  
B=家族&女性券 3,000円  
(高校生、大学生の男性含む)  
C=こども券 2,000円  
(小学生、中学生)

《第二十三回定演用強化合宿を終えて》

参加者数七十六名の大盛況!

このエネルギーを定演に

村長 小俣 泰英(三八)

定演に向けての強化合宿が去る九月八日(土)、九日(日)、河口湖畔の民宿「さんすい」に於て盛況裡に行われました。皆様大変お疲れ様でした。大勢ご参加いただき、かつアルコール、おつまみ等多量の差入れをいただきありがとうございます。お蔭で合宿(宴会)が大いに盛り上がり、さらに赤字にならずにすみました。

加して下さった高橋克さん(三六)。彼は名古屋稲グリで、来年五月にやるという第一回定演について協力要請やら、PRやらをバッチリ卒業以来の面々も多く、大いに旧交を温めていました。次に、日曜日都合がつかず、土曜

日だけの練習のために遠路宇都宮から参加してくれた柿沼君(三八)、三十八度の高熱を押して全参加の土屋君(四四)等々、皆様本当にありがとうございました。合宿の質については、定演本番の出来具合で決まることになるでしょう。合宿でのエネルギーを本番に結集すべく、これからの練習の一回一回を大切に頑張ります。

第二十三回定演強化合宿【収支と報告】

下記のとおりの収支となりましたので、ご報告いたします。

平成二年九月十一日 村長 小俣泰英(三八)

本場稲グリパワーに脱帽

名古屋稲グリクラブ会長 高橋 克(三六)

九月八、九日河口湖の合宿に新生名古屋稲グリを代表し参加。PRの機会も与えていただいたに感謝しております。

十年代、二十年代卒の大先輩から六十年代卒の若手まで、小俣村長の綿密な計画の下、分単位のスケジューリングを精力的かつ一糸乱れずこなすさまを見て、まず感服しました。勿論、練習内容も堀指揮者の密度の濃い名指導で、レベルが高く、「さすい」が本場稲グリ!と一種のカルチャーショックを受けた次第です。このパワーならオーチャードでの名演奏は大いに期待できることでしょう。

名古屋の片隅で小人数(ダブルカル)でハモるとは余りにも違うスケールにとまどって熱いですが、名古屋なりの若力と情熱だけは決して負けぬように頑張りますので、定演終了

後はどうぞ名古屋にも目を向けて下さい。そして来年五月六日、電気文化会館のステージでハモれる日が待ち遠しい限りです。

定演の大成をお祈りしております。また、どうか今後とも名古屋稲グリをよろしくお願い申し上げます。

《名古屋稲グリ行事予定》

10月21日(日) 稲門グリー定演(花束と祝電)

10月27日(土) フルトン合唱団(宮崎)に数名応援

11月7日(水) 堀俊輔・中村絃子演奏会(白鳥)

12月8日(土) ファミリークリスマス

(布池コンクールディアホール)

収入の部(円)		支出の部(円)	
10,000×64	640,000	宿泊費	657,407
9,000×2	18,000	(3食+宴会費+酒代)	
3,000×8	24,000	ピアニスト交通費等	20,000
		通信費(72×40)	2,880
		文具代等雑費	1,626
小計	682,000	小計	681,913
		差引収支差益	87
合計	682,000	合計	682,000

第38回早稲田大学グリーンクラブ定期演奏会

- ドヴォルザーク 「ジプシーの歌」 (編曲・福永陽一郎、指揮・岡田 司)
- コダーイ 男声合唱曲集 (指揮・鎌田浩二《学生指揮者》)
- 日本民謡集 (指揮・鎌田浩二《学生指揮者》)
- 男声合唱とピアノのための「縄文」 (作詩・宗 左近、作曲および指揮・萩久保和明)

1989年11月24日(土)夕刻 渋谷公会堂

【ハミダシ情報】合宿異聞その四。今回初参加の若手・K林さん。学生時代の外政、現在の営業での「全方位外交」の癖が出て、二箇所に分かれた宴会の二次会。惨事を右往左往し撃沈!!

【ハミダシ情報】合宿異聞その三。西の横綱・E原さんも絶好調。S松次郎さんと一つの布団に入っているハミング。二重唱や、嫌がる部下のS々木・I川を連れて午前四時台に湖畔へ散歩など。

### 宮崎・フルトン男声合唱団のこと

来たる十月二十七日(土)、宮崎市民会館にて行われる「宮崎はまゆうコーラス二十周年記念演奏会」に、大古殿氏(三八)主宰の「フルトン男声合唱団」が賛助出演して華を添える。

この演奏会は、ゲストに作曲家の大中恩氏と京都エコー指揮者浅井敬壹氏を迎え、宮崎で旧くから活躍している女声合唱団「ザ・はまゆう」の二十周年を祝うもの。四十名という勢力を有するフルトン男声合唱団は、多田武彦作曲の「男声合唱組曲『富士山』」を歌う予定で、この記念演奏会を十二分に盛り上げてくれることだろう。

稲グリ東京定演、大阪定演、ソ連演奏旅行など、世界各地を荒らし回っている「熊襲の末裔」大古殿さんのご成功を祈る。

**結婚式の二次会場でパチリ**  
左から渡辺美智雄代議士、杉野耕一さん(五九・日本経済新聞社)、信子夫人、福井会長(二九)。



7月28日の有楽町で(本紙No.76号既報)

### 伊東一郎さん

#### NHK・FMにレギュラー出演

稲グリソ連公演の時、現地で大活躍をした伊東一郎さん(四七・早大露文助教授)が、今度は国内NHK・FMで活躍する。十月二十九日(木)から来年三月いっぱいまで、毎週木曜日、朝九時〜十時十五分に放送される「音楽図書館」の時間に、ロシア文学と音楽というタイトルのコーナーで音楽を流しながらお話しをするというもの。

ウイークデイの朝九時という放送時間では稲グリメンには聴くのが難かしいが、少なくとも稲グリメンの家族の方々には是非聴いていただきたいもの。

ご感想とともにお見合い写真なども送れば喜ばれること必定。

### ワグネルOB、再び豪州へ

#### 二一〇名の大部隊で演奏旅行

慶応ワグネルでは、OB・男声(二十数名)を始め、現役(三十三名)、女声(一般含む八十名)オーケストラ(六十名)その他総勢二一〇名の大布陣で、この十月七日からオーストラリアへ演奏旅行を行う。

演奏会は十月十日パースで、十四日シドニーのオペラハウスで開かれ、十五日頃帰国の予定。

昨年五月に続いて二度目の渡豪演奏旅行を敢行するワグネル集団に拍手！祈ご成功。

### 編集後記

おやすみ...



## この秋も大変、大騒ぎで遊んでいます

阿部 良行(四一)

「大阪稲グリだより」

ヤドさがしに追われ続けた花博騒ぎがやっと静かになろうかという時に、何十年振りの大型台風直撃で大騒ぎ。何も変わらず騒がしい大阪の片隅で、実は深く静かに稲グリの練習が進行していたのデス。

コンクール関西大会は十月十四日、今年も出ます歌います。ロッシン二と小山章三という選曲は、セコい豊田幹事長(三五)と藤野指揮者(四〇)のアイディアで、二曲とも選抜曲集(七二〇円)から採り、ど

つちが課題曲か自由曲かどうでもイイ。要は譜面代節約による飲み代かせぎのコンタンみえみえ。

問題はフランス語。「ボークニマカセナサイ」とかのピーター氏が英語なまりの仏語を教授してはくれるけど、歯抜け坊主どもの読経のような練習が東梅田教会でおごそかに行われていてこの頃。九月二十四日祝日返上の強化練習と、十月六・七日よみうりテレビ六甲山荘での合宿で、どの位西洋風になれるか誰も

予測できない。たぶんコンクール後の打上げ席上で見事なフランセが完成するだろう。このロッシン二の曲には中太鼓の伴奏がついている。こちらの方は、先頃の『はなはなコンサート』で素晴らしいパーカッションの腕を見せてくれた、頼もしい音大生大北君におまかせ、当日この太鼓だけがやたら目立ってたらなあ。助っ人としては、我等がマドンナ小道嬢が前回自身でレッスンを付けて足を運んだこともある名古屋の人々が、当然来てくれるヨネ。

コンクールが済んだら辻社長(三三)と泣く子も黙る田村マネージャー(三九)の出番。今年のクリスマスは久しぶりに慶応さんと一緒に騒ごうと、既に盛上がっている。三月になったシンガポールの旅行は、アゴ・アシ・エンカイのネグリ交渉が続いているらしく、田村専務がかける現地の迫氏(四〇)あての国際電話代がバカにならないとは、コトブキ建材一女子社員の話。シンガポールで

のゴルフは？酒は？とますます元気の坪井会長もヤル気満々。アイスクリーム会社の重役となって東京へ行った西多氏(四〇)にも、既にスポンサーの内諾を得た？

「おさん茂兵衛」の成功で意気の上がる山路洋平氏、ラジオ制作部長になり、曲と遊びのアレンジにひまがないとコボす浅井修三氏の三二年コンビが、これだけはどうしてもハズせないと張切っている「坪井コンプ」は、十月六日西宮グリーンクラブで行われ、前回優勝の貝塚氏(三九)も広島からかけつける。



## 桜楓合唱団第21回定期演奏会

指揮／田中信昭      ピアノ／田中瑤子

- |        |                              |
|--------|------------------------------|
| 柴田 南雄  | 三つの女声合唱曲                     |
| 三善 晃   | 三つの抒情                        |
| 武満 徹   | 風の馬                          |
| 池辺 晋一郎 | 委嘱初演(題名未定)・『ボロ・ヘチリ』(「東洋民謡集」) |
| 林 光    | グラナダのみどりの小枝(ロルカ詩集)           |

1990年11月16日(金) 開場6時30分/開演7時  
新宿文化センター大ホール チケット 1,500円(全席自由)  
稲グリチケット担当 石原(35)まで

「ハミダシ情報」九月十五日の練習後の庄や・新大久保店に、本紙を見て近くの勤め先からフラリと現れた海老原(旧姓・石田)幸夫さん(四五)。こういう参加もまた嬉しいものだ。